

	<p>香川県 高松市</p>	<p>【データ】 2024年2月1日現在 ・人口:410,936人 ・世帯数:191,030世帯 ・面積:375.67km<sup>2</sup> ・市の花:つつじ ・市の木:黒松 ・特産物:松盆栽・石材等 ・イベント:高松まつり</p> <p>【連絡先】 ・担当:高松市保健所 保健医療政策課 ・電話:087-839-2860 hc@city.takamatsu.lg.jp</p>
<p>市長 大西 秀人</p>		

高松市の紹介

高松市は香川県の中央に位置し、北は国立公園に指定されてから90年の節目を迎えた瀬戸内海国立公園に面し、南は讃岐山脈を臨む、風光明媚で温暖な人口約41万人を擁する中核市であり、これまで県都として、また、四国の中核管理都市として発展を続けてきました。

道路網の整備水準が高く、海路・空路の港も所在し、国の出先機関や大手民間企業の支店等が集積するなど、優れた都市機能が備わっています。また、街並みがきれいで、教育や子育て環境が整備され、保健・医療・福祉も充実した、子育てしやすい、住みやすいまちです。

また、国の特別名勝「栗林公園」や、日本三大水城の一つである「高松城」のほか、源平合戦の古戦場ともなった国の史跡及び天然記念物に指定されている「屋島」など多くの景勝地にも恵まれています。さらに近年、瀬戸内国際芸術祭の舞台でもある女木島や男木島には、アート作品が島のあちこちに点在しており、島の美しい風景やゆったりとした空気感が相まって、国内外問わず多くの訪問者に非日常の体験を提供しています。

令和6年度から始まった新たな総合計画では、目指すべき都市像として「人が集い、未来に躍動する世界都市・高松」を掲げています。これを通じて、瀬戸内海の美しい景観や市の伝統など、本市の魅力をさらに世界に発信してまいります。



## 健康都市への取組



高松市はWHOの理念に賛同し、平成26年に健康都市連合に加盟しました。これまで本市では、平成14年3月に「健やか高松21」を策定し、健康づくりを推進してきました。26年3月には第2次計画である「高松市健康都市推進ビジョン」を策定し、30年度に中間見直しを行うとともに、令和5年度に現行計画の最終評価を行い、6年度には第3次計画の策定を予定しています。

現行計画では、「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を目標に掲げており、その実現のために様々な分野において、生活習慣の改善などの取組を重ねてまいりました。しかしながら、最終評価の結果から次世代である「子ども」及びその保護者である「働き盛り世代」、「女性」の健康増進が課題として挙げられています。

今後は、こうした課題への対応に重点的に取り組むとともに、全世代の市民が「自分は健康である」と感じることができるよう、新たに「自然に健康になれる環境づくり」や「ヘルスプロモーションに基づいた健康づくり」を推進してまいります。

## 伸ばそう「健康寿命」の取組



高松市保健委員会連絡協議会では、「高松市健康都市推進ビジョン」の趣旨に基づき、市内44地区において地域に密着した自主的な健康づくり活動を積極的に行っています。

生活習慣病の予防のため、一日平均歩数をプラス1,000歩（約10分）歩くことを目指し、地域コミュニティのエリアごとにウォーキングマップを作成し、ウォーキングの実践や研修会などに活用しています。



《実践キーワード》 毎日、健康にええこと+(プラス)

健康のためによいことを、何か1つからでも、できることから始めましょう。

